

Tauchi K., Saito M., Ihara Y., Tsuzawa T., Tazawa K., Fujimaki M.: The problems of endoscopic ultrasonographic diagnosis of the depth of early gastric cancer. 37th World Congress of Surgery, 1997, 8, Acapulco, Mexico.

- 29) 増田 明：特定行為の年次推移－5年間の富山市・高岡市の活動状況を振り返って－. 第15回富山救急医療研究会, 1997, 9, 富山.
- 30) 荒井陽子, 坂巻 緑, 渋谷伸子, 増田 明, 伊藤祐輔：バイオインピーダンススペクトラム法を用いた体内水分分布の評価. 日本麻酔学会東海・北陸地方会, 第61回北陸学会, 1997, 9, 金沢.
- 31) 若杉雅浩, 積永清志, 坂巻 緑, 竹端恵子, 藤村純子, 定村浩司, 増田 明, 伊藤祐輔：MI DCABの麻酔管理より－低侵襲な周術期管理を目指して－. 第2回心臓血管麻酔学会, 1997, 9, 札幌.
- 32) 中丸勝人, 坂巻 緑, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 増田 明, 朝日丈尚：静脈麻酔剤（プロポフォール）の使用による尿酸塩尿の手術症例. 第36回中部臨床衛生検査学会, 1997, 11, 静岡.
- 33) 佐々木利佳, 山崎光章, 伊藤祐輔：PCPS使用により救命し得た気管完全断裂症例の麻酔経験. 第17回日本臨床麻酔学会総会, 1997, 11, 北九州市.
- 34) 竹端恵子, 渋谷伸子, 山崎光章, 伊藤祐輔：術当夜に意識障害を来した人工骨頭置換術の1例. 第17回日本臨床麻酔学会総会, 1997, 11, 北九州市.
- 35) 岩城久美, 増田 明, 伊藤祐輔：透視下顎神経ブロックの治療経験. 第5回北陸臨床疼痛懇話会, 1997, 12, 金沢.

#### ◆ その他

- 1) 伊藤祐輔：低酸素が生体に及ぼす影響とその治療. 看護部を対象の講演会, 1997, 2, 長岡（立川総合病院）.
- 2) 増田 明：救命救急法. 交通事故救命救急法教育講習会, 1997, 2, 富山.
- 3) 増田 明：救命救急法. 交通事故救命救急法教育講習会, 1997, 10, 富山.
- 4) 伊藤祐輔：心肺蘇生法の理論と実際. 平成9年度心肺蘇生法等の応急処置研究会, 1997, 11, 富山.
- 5) 伊藤祐輔：心肺蘇生法の理論と実際. 平成9年度養護教諭実技研修会, 1997, 12, 富山.

## 歯科口腔外科学

|        |         |
|--------|---------|
| 教 授    | 古 田 勲   |
| 助 教 授  | 岩 井 正 行 |
| 講 師    | 佐 渡 忠 司 |
| 助 手(前) | 寺 島 龍 一 |
| 助 手    | 中 山 圭 子 |
| 助 手    | 伊 藤 重 人 |

#### ◆ 原 著

- 1) 古田 勲：口腔癌治療後の機能回復法. 札幌歯科口腔外科研修会誌 5:27-29, 1997.

#### ◆ 症例報告

- 1) 和田重人, 小村 健：耳下腺に生じた悪性血管周皮細胞腫の1例. 日口科誌 46:84-88, 1997.
- 2) 和田重人, 古田 勲, 佐渡忠司, 岩井正行, 伊藤重人, 小杉弘美：急性前骨髄球性白血病に併発した頬粘膜扁平上皮癌の1例. 日口外誌 43:739-741, 1997.
- 3) 佐渡忠司, 石川圭子, 伊藤重人, 岩井正行, 古田 勲：巨大な腫瘤形成を認めた口蓋粘膜色素性母斑の1例. 日口外誌 43:846-848, 1997.

#### ◆ 学会報告

- 1) 岳 麗華, 岩井正行, 姚 立, 石井義人, 古田 勲：舌癌におけるp34cdc-2の免疫組織学的検討. 第15回日本口腔腫瘍学会 1997, 1, 北九州.
- 2) 松宮弘茂, 岩井正行, 佐渡忠司, 寺島龍一, 姚 立, 岳 麗華, 伊藤重人, 古田 勲：口腔領域扁平上皮癌の臨床統計的観察. 第15回日本口腔腫瘍学会 1997, 1, 北九州.
- 3) 岩井正行, 池田昌平, 姚 立, 古田 勲：舌扁平上皮癌におけるアポトーシスの免疫組織化学的検討. 第15回日本口腔腫瘍学会 1997, 1, 北九州.
- 4) 姚 立, 岩井正行, 池田昌平, 古田 勲：舌癌におけるbcl-2癌遺伝子蛋白の発現に関する臨床病理組織学的検討. 第15回日本口腔腫瘍学会 1997, 1, 北九州.
- 5) 佐渡忠司, 伊藤重人, 和田重人, 岩井正行, 古田 勲：末期口腔悪性腫瘍患者の癌性疼痛制御に関する臨床的検討. 第51回日本口腔科学会総会 1997, 4, 新潟.
- 6) 佐渡忠司, 岩井正行, 寺島龍一, 伊藤重人, 和田重人, 古田 勲：富山医科薬科大学歯科口腔外科における口腔領域扁平上皮癌の臨床的検討. 第51回日本口腔科学会総会 1997, 4, 新潟.
- 7) 和田重人, 古田 勲, 佐渡忠司, 岩井正行, 伊

- 藤重人, 小杉弘美: 急性前骨髄球性白血病に併発した頬粘膜扁平上皮癌の治療経験. 第51回日本口腔科学会総会 1997, 4, 新潟.
- 8) 石井義人, 岩井正行, 松宮弘茂, 古田 勲: 当科開設以来17年間における歯肉癌の臨床統計的検討. 第51回日本口腔科学会総会 1997, 4, 新潟.
- 9) 山岸聡史, 高櫻武史, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲: 富山医薬大歯科口腔外科における顎顔面外傷の臨床的検討. 第51回日本口腔科学会総会 1997, 4, 新潟.
- 10) 高櫻武史, 山岸聡史, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲: 富山医薬大歯科口腔外科における救急患者の臨床的検討. 第51回日本口腔科学会総会 1997, 4, 新潟.
- 11) 伊藤重人, 中山圭子, 寺島龍一, 森川正俊, 古田 勲: 広範な下顎義歯性線維腫摘除後, インプラントを適応し咬合再建を図った1例. 第14回日本顎顔面補綴学会総会 1997, 5, 東京.
- 12) 佐渡忠司, 伊藤重人, 和田重人, 古田 勲, 小野 繁: 下顎半側切除を行った頬上皮肉腫の1例—その補綴的対応—. 第14回日本顎顔面補綴学会総会 1997, 5, 東京.
- 13) 和田重人, 古田 勲, 小野 繁, 岩井正行, 佐渡忠司: 頭蓋底へ進展した耳下腺多形性腺腫の1例. 第14回日本顎顔面補綴学会総会 1997, 5, 東京.
- 14) 中山圭子, 古田 勲, 伊藤重人, 佐渡忠司, 岩本真也, 澤崎茂樹, 杉山英二: 下顎骨に認めた難治性のRelapsing Chronic Osteomyelitisの1例. 第14回日本顎顔面補綴学会総会 1997, 5, 東京.
- 15) 中山圭子, 古田 勲, 伊藤重人, 佐渡忠司, 寺島龍一, 岩本真也, 澤崎茂樹, 杉山英二: 難治性のRelapsing Chronic Osteomyelitisを下顎骨に認めた1例. 第22回日本口腔外科学会中部地方会 1997, 5, 名古屋.
- 16) 佐渡忠司, 寺島龍一, 伊藤重人, 岩井正行, 古田 勲: 抜歯後に下顎骨骨折を惹起したPyknodysostosisの1例. 第22回日本口腔外科学会中部地方会 1997, 5, 名古屋.
- 17) 伊藤重人, 中山圭子, 寺島龍一, 岩井正行, 古田 勲: 舌運動障害を来した広範な下顎義歯性線維腫の1例. 第22回日本口腔外科学会中部地方会 1997, 5, 名古屋.
- 18) 木村郁子, 九十九透仁, 笹村 崇, 岩井正行, 古田 勲, 古澤良雄, 笹本英彦: 血糖調節ペプチドsalivary peptid P-Cのヒト唾液中における摂食後の濃度変化. 第42回日本唾液腺学会 1997, 12, 東京.
- 19) 川上由美, 竹口英人, 和田重人, 岩井正行, 古田 勲: 当科における歯肉性腫瘍の臨床的検討. 北陸医学会第17回臨床口腔外科分科会 1997, 9, 金沢.
- 20) 松田 源, 石井義人, 岳麗華, 岩井正行, 古田 勲: 当科における舌癌の臨床的検討—発生部位と局所誘因について—. 北陸医学会第17回臨床口腔外科分科会 1997, 9, 金沢.
- 21) 長沢勝将, 小杉弘美, 佐渡忠司, 山河ガブリエライネス, 岩井正行, 古田 勲: 上顎前歯部外傷性欠損に対する一工夫: 下顎隆起を用いた骨移植とインプラントの併用. 北陸医学会第17回臨床口腔外科分科会 1997, 9, 金沢.
- 22) 加藤泉子, 山岸聡史, 伊藤重人, 石崎善司, 岩井正行, 古田 勲: 習慣性顎関節脱臼の臨床的検討. 北陸医学会第17回臨床口腔外科分科会 1997, 9, 金沢.
- 23) 前田みわ, 佐渡忠司, 中山圭子, 高櫻武史, 岩井正行, 古田 勲: 口唇に発生した多形性腺腫の2例. 北陸医学会第17回臨床口腔外科分科会 1997, 9, 金沢.
- 24) Ohtsuyama M., Lanfei F., Sakita S., Morohashi M., Nakayama K. and Furuta I. : The extent of hypotonic swelling of human gingival cells is associated with a quantity of cytokeratin. 10th Japan-Korea Joint Meeting of Dermatology 1997,9, Hakone, Japan.
- 25) 石井義人, 岩井正行, 松宮弘茂, 古田 勲: 当科開設以来17年間における歯肉癌の臨床的検討. 第65回日本口腔外科学会九州地方会 1997, 9, 那覇.
- 26) 高石樹朗, 伊藤重人, 高田義美, 古田 勲, 許 南浩: マウス皮膚形態形成過程で発現レベルの変化する遺伝子の検索—皮膚と精巣で発現する遺伝子4A50—. 第56回日本癌学会総会 1997, 9, 京都.
- 27) 岩井正行, 池田昌平, 古田 勲: 舌癌の手術療法に関する検討—切除組織片断端部の評価と局所再発—. 第40回日本口腔科学会中部地方会 1997, 9, 松本.
- 28) 佐渡忠司, 寺島龍一, 伊藤重人, 和田重人, 岩井正行, 古田 勲: 放射線誘発腫瘍と考えられた下顎頬上皮肉腫の1例. 第40回日本口腔科学会中部地方会 1997, 9, 松本.

- 29) 小杉弘美, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲, 小泉富美朝: 歯根嚢胞の免疫病理学的研究. 第40回日本口腔科学会中部地方会 1997, 9, 松本.
- 30) Yao L., Iwai M. and Furuta I. :Clinicopathological analysis of bcl-2 expression in tongue squamous cell carcinomas. 13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997, October, Kyoto, Japan.
- 31) Yue L.H., Iwai M., Yao L. and Furuta I. :Immunohistochemical study of p34cdc2 in tongue squamous cell carcinomas with special reference to clinicopathological malignancy.13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997.
- 32) Nakayama K., Oguchi H., Furuta I., Yamago G. and Eguchi G. :A quick and reliable method for evaluating biocompatibility of recrystallized hydroxyapatite. 13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997, October, Kyoto, Japan.
- 33) Nakayama K., Furuta I., Sado T., Ito S., Koizumi F., Iwamoto S., Sawazaki S. and Sugiyama E. : A case report of chronic recurrent multifocal osteomyelitis showing clinical improvement with glucocorticoid treatment. 13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997, October, Kyoto, Japan.
- 34) Sado T., Furuta I. and Ono S. :A long-term clinical evaluation of HA-Implants in the maxillofacial region. 13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997, October, Kyoto, Japan.
- 35) Sado T., Horikawa S., Iwai M., Furuta I. and Ono S. :A case of Von Recklinghausen's disease with intraosseous neurofibroma in the mandible. 13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997, October, Kyoto, Japan.
- 36) Itoh, S., Iwai, M., Yao, L. and Furuta, I.: Immunohistochemical Study of Cyclin D1 Product inTongue Squamous Cell Carcinoma. 13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997, October, Kyoto, Japan.
- 37) Wada S., Furuta I., Ono S., Iwai M., Sado T, Takazakura T: A case of Pleomorphic Adenoma in parotid gland Extending to the Skull Base :13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997, October, 1997, Kyoto, Japan.
- 38) Iwai M., Ikeda S., Yue L., Furuta I.: Histological evaluation of the surgical margin in tumor resected specimens and local recurrence of tongue carcinoma :13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997,October,1997, Kyoto, Japan.
- 39) Iwai M., Sado T., Terashima R., Itoh S., Furuta I.: Combined application of Carboplatin, Peplomycin, Tegaful/5FU and Radiation as preoperative treatment of oral squamous cell carcinoma. :13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997,October,1997, Kyoto, Japan.
- 40) Iwai M., Yao L., Ikeda S., Yue L.H., Furuta I.: Apoptotic cell death in tongue squamous cell carcinoma with special reference to clinicopathological malignancy :13th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, 1997,October,1997, Kyoto, Japan.
- 41) 古田 勲, 浅井正嗣: 1ヶ月後に発見, 食道切開術により摘出された義歯嚢腫の1例. 第4回アルペン口腔科学フォーラム 1997, 11, 富山.
- 42) 石井義人, 古田 勲: 下顎智歯抜歯後, 重篤な縦隔炎を惹起した1例. 第4回アルペン口腔科学フォーラム 1997, 11, 富山.
- 43) 佐渡忠司, 和田重人, 岩井正行, 古田 勲: 当科におけるMR画像診断の臨床的有効性の検討. 第7回日本磁気歯科学会 1997, 11, 横浜.
- 44) 高田義美, 高石樹朗, 伊藤重人, 古田 勲, 許 南浩: マウス皮膚形態形成に関わる新規遺伝子の単離と解析(2) -4A50遺伝子-. 第20回日本分子生物学会年会, 1997, 12, 京都.
- 45) 佐渡忠司, 伊藤重人, 山岸聡史, 寺島龍一, 古田 勲: 顎口腔機能再建における再結晶化型インプラントの臨床的有用性に関する検討. 第1回日本顎顔面機能再建学会 1997, 12, 名古屋.
- ◆ その他
- 1) 和田重人, 古田 勲, 岩井正行, 竹口英人, 山岸聡史, 佐渡忠司: 口腔癌治療後の経過観察期における十全大補湯の有用性-免疫賦活作用に関して-. 第49回近畿北陸地区歯科医学大会誌 25-27 1997.
- 2) 奥田泰生, 佐渡忠司: 砺波市における高齢者歯

科口腔保健実態調査に関する報告. 第49回近畿北陸地区歯科医学大会誌 31-34, 1997.

- 3) Ohtsuyama M., Lanfei F., Sakita S., Morohashi M., Nakayama K. and Furuta I. : The extent of hypotonic swelling of human gingival cells is associated with a quantity of cytokeratin. Proceedings of the 10th Japan-Korea Joint Meeting of Dermatology 152-155, 1997.
- 4) 岩井正行: 健康-虫歯と歯周病の予防. えるふらざ(北陸電力広報誌) 22:6, 1997.
- 5) 古田 勲: 口腔外科にみる創傷治癒. 第3回ストーマリハビリテーション・フォーラム 1997, 3, 東京.
- 6) 古田 勲: インプラントの展望とトラブル処理法. 第19回福井県歯科・口腔外科集談会特別講演 1997, 6, 福井.

## 臨床検査医学

教授 櫻川 信男  
助教授 新谷 憲治

### ◆ 研究概要

出血性素因および血栓症の分子生物学遺伝学的研究

### ◆ 著 書

- 1) 櫻川信男: 漢方薬・加味帰脾湯の特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) に対する治療効果. 皮膚科における漢方治療の現況. 皮膚科東洋医学研究会編, 45-56, 総合医学社, 1997.
- 2) 櫻川信男: 活性化部分トロンボプラスチン時間, プロトロンビン時間, トロンボテスト, ヘパラスチンテスト, トロンビン時間. 臨床検査ガイド'97 Medical Practice 編集委員会編, 646-657, 文光堂, 1997.
- 3) 櫻川信男: 脳の病気と対策: その原因と検査. 富山医科薬科大学臨床検査医学編, 1-60, 1997.
- 4) 櫻川信男: 血栓止血検査法. 現代内科学, 黒川満, 斉藤英彦, 矢崎義雄編, 1422-1426, 金芳堂, 1997.
- 5) 櫻川信男: 低分子ヘパリン. DICology, 丸山征郎編, 421-426, メディカルビュー社, 1997.

### ◆ 原 著

- 1) Sakuragawa N., Yasunaga K., Nomura T., Akatsuka J., Kuramoto A., Matsuda J., and Nomura S.: Clinical study of TJ-137, Tsumura Kami-kihi-to in patients with idiopathic thrombocytopenic purpura (ITP). Clinical Applied Thrombosis and Hemostasis 2(3) : 213-218, 1996.
- 2) 櫻川信男: 肝疾患における凝固異常検査法—特に合成基質を用いる方法について—. Sysmex Journal 20:10-14, 1997.
- 3) 櫻川信男: 肝疾患の血栓止血機構異常の測定法. Sysmex Journal 20:15-19, 1997.
- 4) Hayashi T., Hayakawa Y., Hayashi T., Sasaki H., and Sakuragawa N.: Sulfated polysaccharide from the leaves of artemisia princeps activates heparin cofactor II independently of the Lys<sup>173</sup> and Arg<sup>189</sup> residues of heparin cofactor II. Thrombosis Research 87(1) : 105-112, 1997.
- 5) Ozawa T., Niiya K., Inoue N., Kawahara N., Nakatsuka M., Tada K., Kudo T., and